

学校だより

No. 17 令和7年12月4日

有田小 HP の

QR コードは

こちらです。



とうざん

有田町立有田小学校 校長 山口 英一

寒さが深まり、冬の訪れを感じる12月となりました。振り返れば、4月からの8か月間で子どもたちは学習面でも生活面でも大きく成長を見せてくれました。学期末が近づく中、引き続き一人一人の頑張りをていねいに見守り、よい締めくくりができるよう取り組んでいきます。

さて、12月の全校朝会では次のような話をしました。

12月に入り、今年も残りわずかとなりました。寒さとともにインフルエンザが流行しているため、手洗い・換気・咳エチケットなど、健康に気をつけて過ごしましょう。

12月は昔「師走」と呼ばれ、お坊さんや先生も走り回るほど忙しい月だと言われています。また、この時期は一年を振り返り、様々なことをしめくくる時期でもあります。

これまでの全校朝会では三つのことを伝えてきました。

- ① 当たり前に見える毎日、家族・先生・地域の方々の支えがあって成り立っていることに気付くこと。この気づきが感謝の第一歩です。
- ② 感謝は心の中だけでなく、言葉や行動で伝えることが大切だということ。「ありがとう」の一言は、周りの人の心を温かくし、学校全体の雰囲気をよりよくします。
- ③ 感謝を意識すると、人のよいところに気付け、自分自身の成長にもつながること。友達への思いやりや、挨拶・掃除に心を込める姿にもつながります。

そこで、12月は「感謝で満ちす月」にしてほしいと思っています。家族、友達、先生、地域の方など、身近な人の支えを改めて見つめ、「ありがとう」の気持ちを言葉にして伝えてみましょう。その一つ一つが、学校をさらに温かく、明るい場所してくれます。今年最後の1か月が、心温まる時間となるようにと願っています。

ご参観ありがとうございました

11月14日(金)の授業参観(ふれあい道徳)および教育講演会には、お忙しい中ご参観いただき、ありがとうございました。私は会議のため参加できませんでしたが、保護者の皆さんからの感想を読ませていただき、子どもたちが自分の考えをしっかりと伝えようとしていたことがよく分かり、とてもうれしく思いました。

また、講演会では、近藤花店代表の近藤伸充さんにお話をいただきました。先生方から内容を聞き、校歌の歌詞を“色”に着目して別の角度から解釈されていたことが、とても面白く感じました。生け花の実演も、実際に見てみたかったです。近藤さん、このたびはお忙しい中にすてきなお話をしてくださり、ありがとうございました。



第2回学校運営協議会を開催しました

今年度2回目の学校運営協議会を開催し、各委員の皆様からこれまでの取り組みについてご紹介いただきました。学校運営協議会の皆様が、子どもたちのために活動したり、日頃から気にかけてくださったりしていることに、改めて気付かされました。

また、前期の教育活動や学校運営・学校経営について、児童や保護者の皆様のアンケート結果も含めて報告し、それに対してご質問やご助言をいただきました。本当にありがとうございました。

後期も教育目標達成に向けて、全職員で取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

やったあ、音が出た ♪

11月17日(月)に、学校運営協議会副会長の青木さんによる音楽教室が行われました。たくさんの楽器(金管楽器、木管楽器、弦楽器、打楽器など)を準備していただき、子どもたちは思い思いに楽器に触れ、演奏に挑戦していました。

トランペットを吹いていた女の子は、初めは「音が出ない…」と言っていたのですが、何度か挑戦しているうちにしっかりと音が出るようになりました。そのときの表情は、とてもうれしそうでした。

このような経験はなかなかできるものではありません。見ているこちらまで、子どもたちがとてもうらやましく感じました。青木さん、本当にありがとうございました。



やわらかい音色に…



11月28日(金)に箏教室を行いました。講師の古瀬さん、田中さんの指導のもと、4～6年生が実際に箏に触れ、弦の振動を指先に感じながら、楽譜を見て一音ずつ弾いていました。澄んだ音が響き、和楽器の魅力を実感することができました。貴重な体験を通して、日本の伝統文化に親しむよい機会となりました。

また、全校児童が講師の先生による箏の演奏を聴きました。有田小学校の校歌を箏で演奏していただき、みんなて歌いました。まさか、母校の校歌を箏で聞く日が来るとは…。



11/20 なかよし秋まつり



11/20 誕生給食(10・11月)



11/27 福祉の授業(5年)



11/28 折り紙教室(6年)

学校にある樹木

学校の敷地内にはたくさんの樹木が植えられています。私が通っていたときにもあった、校門の近くと体育倉庫の前にある大きなクスノキ。そして、旧校舍跡地にあるまっすぐに伸びる大きな木……。子どもの頃に見ていたときと比べても、かなり大きくなっているなあと思いながら眺めていましたが、この木の名前は知りませんでした。

そのような中、「みんなの森プロジェクト」の取り組みで、学校の樹木の調査があり、樹木板(名札)を設置することができました。そこで分かった樹木名が「メタセコイア」でした。

「メタセコイア」は300万年前に絶滅したと考えられていましたが、1954年に中国で発見され、生きた化石と呼ばれ有名になったそうです。成長がたいへん早く、まっすぐ幹が上に向かって大きく伸び、高さ50mにも達する巨木もあるとのこと。いつ頃、どのような経緯で有田小学校に植えられたのかは分かりません。

今回、学校の敷地内の22本・19種類の樹木に名札が付けられました(4年生の子どもたちが、理科の時間に名札付けを手伝ってくれました)。会議室前には19種類の樹木の写真が掲示しており、子どもたちが“推しの木”を選んでくれています。

保護者、地域の皆さんも学校に足を運ばれたときに、樹木の名札探しをしながら“推しの木”を選んでみられてはいかがでしょうか？

